

花月坊
大
通



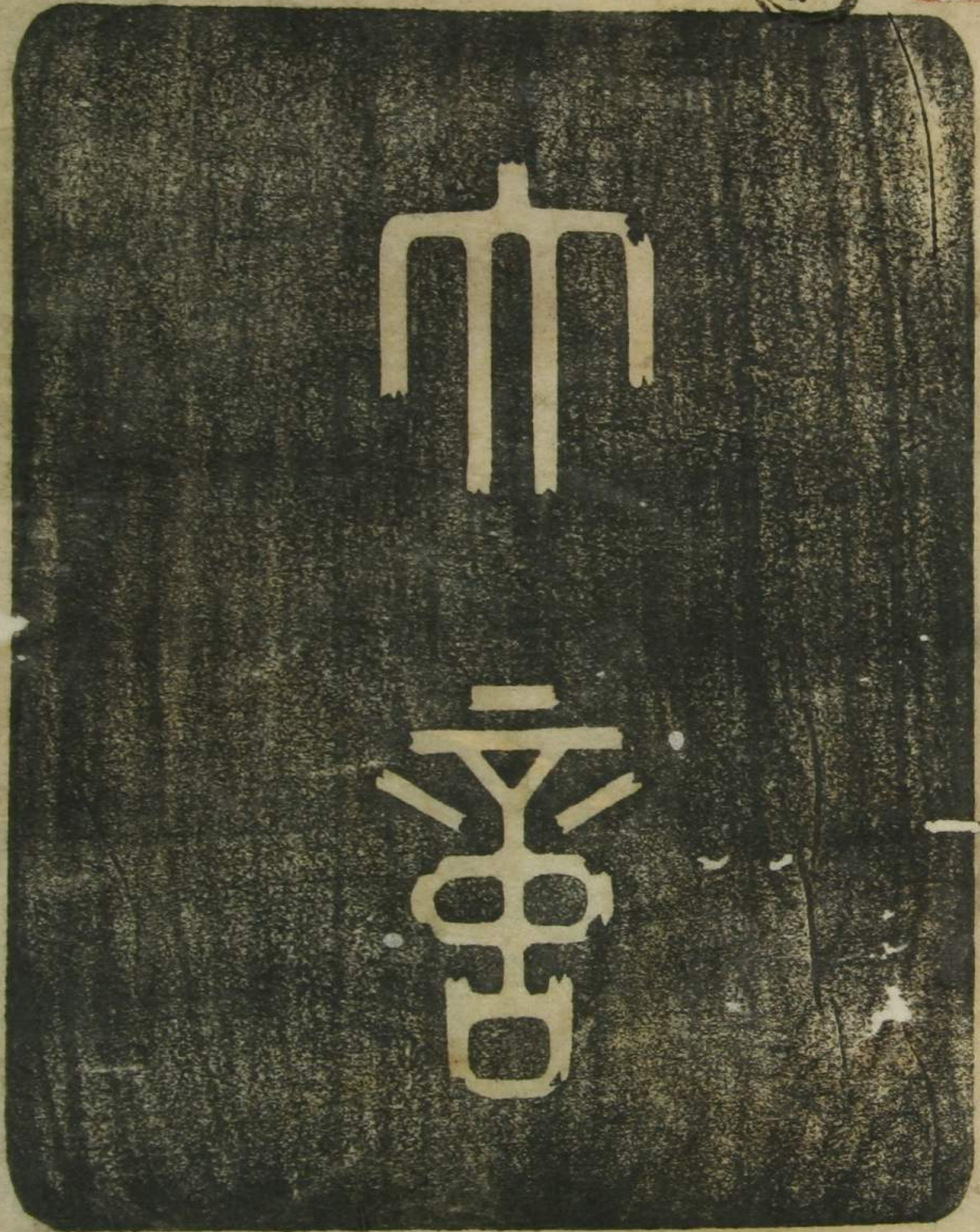
特別

13

3633

36





外題
少子
の
古
通

昭和三十三年六月八日
宮川曼魚氏寄贈

お慮ヒヨく辨ワびくともいひるよ、いふ通ツツる
とモひく大通ダイツウの存ゾクあり。其ソノ深コソ奥ウチ精シヨウ微キ
理リを究キウむるハ、きやまらざるあり、杯ハシども
さかゞ不ツ通ツウかとのし一イツ生シヨウとおひき
くスギるんも、ムゲトたまはし、モノあはれ人ヒトと生ナれ
て、モノハ通ツし、モノは生ナれ者モノじ誰タレそ
も通ツの交カウは、モノは時トキハ、モノのゆるよ
たより安ヤスく、スカタも、コトバり、フケ風フウ流リウよなるこ



龍と字に倣はば七毫の砂金ふり
 いふも 龍も浅くは物くハ目高と異
 と等しき故も利も暗く夜ふよと
 交る金も野夫の中へ通し
 敬んよハ大通と云く差徒と云ふ
 ！いふも 方違ふ物と云ん大通
 の意と云ふまの弟も洞へんく志も
 具員強し物好し上手くしと云
 ！

倣く人の言は早く深く一皮目
 衣は細衣ハ人あやそと野
 界は嫌はく風流雲上と
 (是字が序意あり)

通といふ先と木もまをカキツナ
 ざるやうに心けさぐ神社佛国も
 金一も人の浅草の親も素訪
 まる時ハ二振斬の河屋と寄つけ

學文ガクを文と書くは一

世の中ニ一ヲや出ルよハ河カ東トウ節ブシ志シだ

そレ以テ經ケ古コあるハ時トキのノ通トウのノ名ナもモ是レ一

人ヒトもモ知チ海ウミ紙シむク夕ユフ一ニ四シツツ目メのノ意イをシ

誰タレがガ淨ジヨウくクにニ三サン法ホウハハさサのノ吹フクをシ

うウふフやヤのノ一イツがガ何ナニ果ケがガあアるル世セ帯タイのノ獨ドク吟ギン

器キのノ肝キをシけケがガ一イツとトなナるル一イツはハいイまマ

是レよヨるル捷チカ速スイハハあアるルトトいイふフはハいイまマ

あアらラむム十ジュウ寸サン見ミ要ヨウ集シユウのノ志シ談タン如ニほシ

とトなナるル時トキハハ人ヒトのノ情ナガレをシけケるル

あアらラむムハハいイまマのノ思オモいイハハ知チるル人ヒト

こコのノ時トキハハいイまマのノ思オモいイハハ知チるル人ヒト

おオのノ通トウハハいイまマのノ思オモいイハハ知チるル人ヒト

時トキハハいイまマのノ思オモいイハハ知チるル人ヒト

あアらラむムハハいイまマのノ思オモいイハハ知チるル人ヒト

系ケイのノ著シユもモ出デ今イマのノ著シユもモ知チるル人ヒト

此の會一^{フクイ}切^キる^ル百^{ヒャク}度^ドの^ノ一^{イツ}なる^ル時^{トキ}ハ
義^ギ自^{ヨリ}通^{ツク}ト^ト何^{ナニ}程^{ホド}よ^ク是^{コト}を^シま^ス今^{イマ}
殺^ステ^モ及^ブ一^{イツ}ハ^ハ是^{コト}を^シま^ス名^ナも^モ是^{コト}を^シま^ス
この^ノか^らと

聖^{セイ}人^{ジン}の^ノ道^{ミチ}ヲ^{カク}行^ク實^{ジツ}ト^シテ^モあ^らは^せは^れ
人^{ヒト}ノ^ノ日^{ニチ}用^{ヨウ}ヲ^シテ^モお^しる^ル學^{ガク}範^{ハシ}曰^{ハク}孝^{コウ}ハ
睦^{ボク}嫻^{ケン}任^{ニン}恤^{シユン}ハ^ハツ^ツを^シ行^ク事^{コト}ト^シテ^モ孝^{コウ}ハ
親^{シン}より^ク片^ハク^ク之^ノ才^{サイ}ハ^ハ己^ニより^ク睦^{ボク}と^ハ

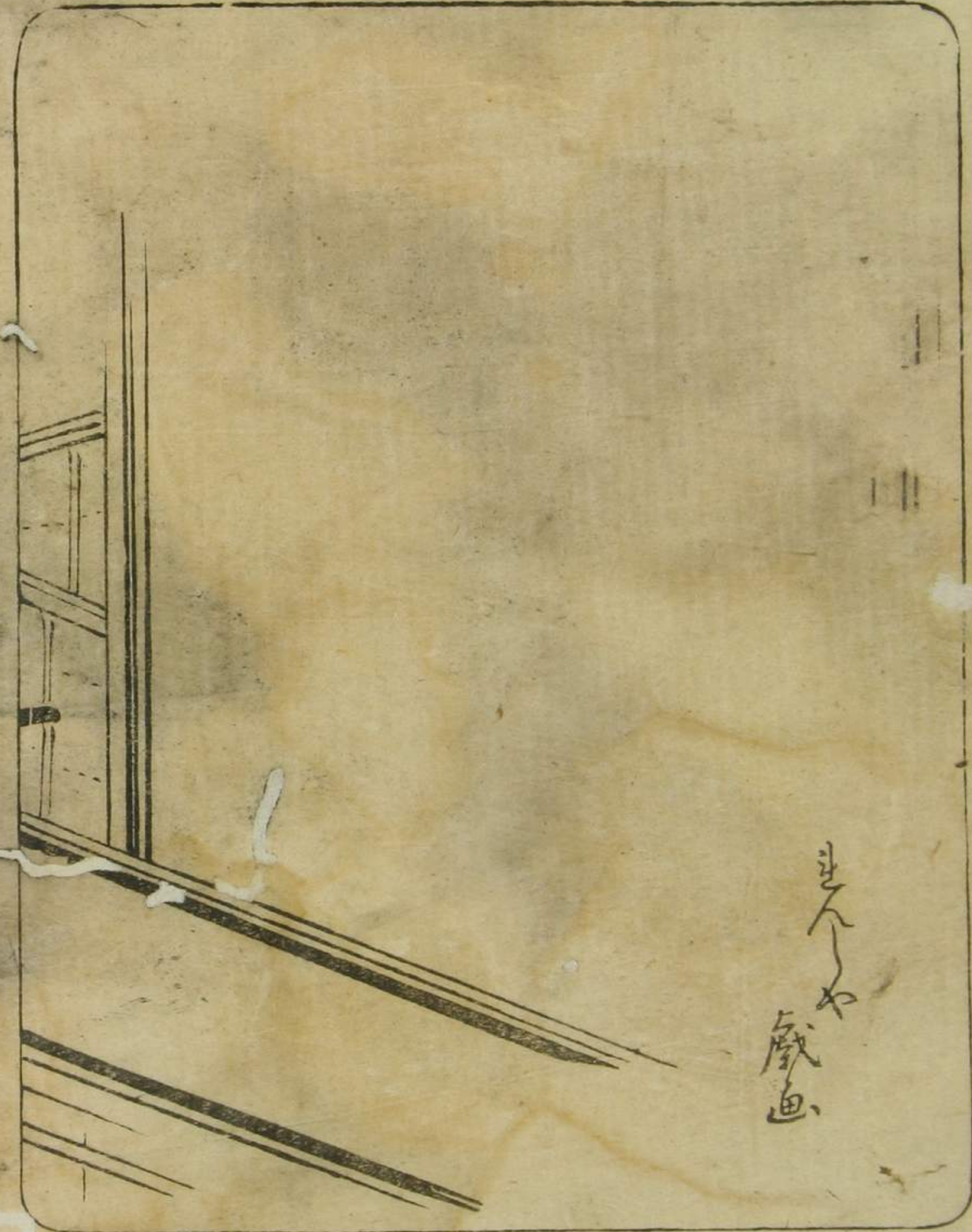
又^{マタ}方^{カタ}の^ノ親^{シン}ヲ^シ淵^{エン}と^シ母^ボ方^{カタ}ノ^ノ親^{シン}ヲ^シ
任^{ニン}ト^シハ^ハ朋^{トウ}友^{ユウ}ノ^ノ誠^{マコト}ヲ^シ以^テて^モ不^フ恤^シと^シ
ハ^ハ我^ガク^ク任^{ニン}ビ^ビ所^{ショ}ノ^ノ一^{イツ}脚^{キョウ}ヲ^シ以^テて^モ不^フ恤^シ乃^ハ
人^{ヒト}ノ^ノ知^チる^ルもの^ノより^ク己^ニを^シ成^シル^ル時^{トキ}ハ
親^{シン}見^ミテ^モ才^{サイ}の^ノ差^サと^シテ^モ己^ニより^ク一^{イツ}ツ^ツ上^ノの^ノ
もの^ノを^シ教^{ケウ}ひ^ヒ不^フ仕^シテ^モ己^ニより^ク一^{イツ}ツ^ツ上^ノの^ノ
ツ^ツけ^ケテ^モ己^ニより^ク一^{イツ}ツ^ツ上^ノの^ノ者^{モノ}
才^{サイ}の^ノ差^サと^シテ^モ己^ニより^ク一^{イツ}ツ^ツ上^ノの^ノ者^{モノ}

けやどよのシマレモノに落着る者をもつるに大通の名ま
 知ると先でハ知ぬも通コトとハ知利リま
 くし人を入らばし賢チンなる者をもハ知ヤボま
 かやりサダシク己バうが、まかしのまに
 かひいエンちをリヨとみるもハ知のしる
 みのキ

大通の心のうちには人あぬかツカまの
 縁ケさるものしおりの通コトなるぬもマ場チら

一はき毎回乃種とけく時野夫あ
 かみチンゲンしころきめハるるダ道ドウをチの
 金言チンゲンなマ

大通ハ物モノを施ホドコとツ子コとあるゆ
 又な等州ハるコノ事シハ初トモハのトモ業ノ意イ
 をとチ遠チつる所チし不通コトのトモ目メあ
 ちるチハハるチどあチ所チのチ
 故チ物チなチ通チのチ



主人
戲画

心はゆるみ、ばらばらきこもるゝゝゝの愛が通と
いふものごとと自著たる幾許の心遠い
るあつても優と子りのあつてもはげさ
とつらとほふものし三編拙いの記事も
わづらひ

剛友の文アハハハハと正しくも一版
初めと言葉麗未もたつてゐるやうな
るやうな文通ホよんをさしつゝ

己より集うえたるものハ感無識
ハナシ其人の居合とさるる
と然丁寧なるものより得る通の
もる時ハ己より上めを命さ人も
控あつてハ既字一文字もあつた
ぬいぬいとはとくハ通がたつた
通の通も変をたつたハ不通し故
大通ハ通りやうと愛とみく通あり

若さよの かる先しく 侍るるあー
まよふ心一古なるのこころいこま
とつあふあまじもさるるみぞりー
あまやうよのしぞつ一影あまきに能
るすいらしとる古の大書とるるに 房髪
の判さげ 袖より大とたうとぞくそ
沼はうのざりの 墨はあまうとぞい古風
あまうとぞい

せく 移し 紀文。奈良茂。倉市。オ
づも 穉をちあ 知息を 持ち 好い ち
向 白うり 百倍なる ちをを ちあ
女 席 志 実より 同 丈を せり 辰は 洗を
せの 女 席 子 侶 ち 接い の 侍る ちあ
ちら ぐー ころ ちを ちあ 知る 一
額 髪 子 ちあ なく 髪 月 代 色 ちあ 吟 味
ま 一 ちあ ちあ ちあ ちあ 夜 に入 己

ハナヤカ
花屋敷をハカゲ
ワツ
移るる庭より
くくくハカゲ
トナ
人のつく目つぎ
まきのなま

若きうらハ情
なむざるやうに
かむ世の中
ワウジン
可哀
新時ハ
居合をざる
判判を
くくく
コト

鏡小舟しぎ

地口一席子
ニワ
ハ
又諸路
九月廿日
ハ
不亦
諸路
ん
く

酒^{シヤ}落^レハ^ハ花^ハと^タ多^タ言^{ゲン}なる者^ハ實^{ゴト}あり

多^タくハ^ハ花^ハ多^タく^クその^ハ實^{ゴト}なる^ル事^{ナリ}

か^{ゴト}如^ク――

出^デ之^ノハ^ハ小^コ神^{カミ}羽^ハ織^{オリ}。小^コ名^ナ。鶴^{ツル}坐^マ。幣^{ヘイ}物^{モノ}

幣^{ヘイ}入^ニ。桐^キ葉^エ。煙^ケ草^{ソウ}入^ニ。幣^{ヘイ}扱^ア。申^マ砂^ス。子^コ武^ブ扇^{セン}

近^{チカ}本^ホ除^ノ違^ヒと^ト月^{ツキ}ひ^ヒと^ト羽^ハ孔^{アナ}など

履^{ハキ}もの^ニあ^リま^るく^ク心^{ココロ}と^ト月^{ツキ}あ^るる^ル事^{ナリ}。如^ク要^{ヨウ}し

小^コ神^{カミ}ハ^ハ志^シト^ト折^ヘる^ル事^{ナリ}又^マも^モ人^{ヒト}介^ケ

も^モよ^ヨほ^ホる^ル一^{ヒト}拵^テお^りあ^るる^ル事^{ナリ}。紋^{イタダキ}亦^モ三^ミ

紋^{イタダキ}も^モその^ノ中^{ナカ}も^モ上^ウ中^{ナカ}下^ゲあ^るる^ル事^{ナリ}

かく^{カク}の^ノ一^{ヒト}下^ゲ名^ナハ^ハ玉^{タマ}手^テの^ノ指^{サシ}の^ノ小^コハ^ハあ^るる^ル事^{ナリ}

少^{スユシ}い^イづ^づも^モあ^るる^ル事^{ナリ}。是^{コト}ハ^ハ四^シ編^ヒめ^メ衣^イ類^{ルイ}の^ノ部^ブ也^{ナリ}

々^ク々^ク地^チを^ヲ羽^ハ織^{オリ}ハ^ハ長^{ナガ}き^キ方^{カタ}より^リ。神^{カミ}尾^ビも^モ也^{ナリ}

角^{ツノ}な^なぞ^ゾ襟^{エリ}の^ノ先^{サキ}が^ガ一^{ヒト}は^ハけ^ケじ^ジ紐^{ヒモ}ハ^ハ玉^{タマ}手^テ也^{ナリ}

ひ^ヒら^らけ^ケ尾^ビ尾^ビら^らむ^むら^らび^び刺^サ髪^{カミ}も^モハ^ハ長^{ナガ}き^キよ^{よし}

儀^{ケイ}す^すハ^ハ白^{シロ}き^きの^ノ神^{カミ}ハ^ハ白^{シロ}の^ノ面^{オモ}也^{ナリ}

儀^{ケイ}す^すハ^ハ白^{シロ}き^きの^ノ神^{カミ}ハ^ハ白^{シロ}の^ノ面^{オモ}也^{ナリ}



ちやうどシヨロす徳シヨリ帯シヨリらシヨリくシヨリの大通の
 物モノ好ドキまカ伊カ豆カ一カ腰物ウシノモノ大タイ切セツのシヨのシヨふシヨまシヨ
 ちシヨ一シヨ帯シヨ入シヨちシヨとシヨ造シヨふシヨしシヨきシヨ
 きシヨれシヨをシヨ吟シヨ味シヨをシヨ入シヨちシヨとシヨ造シヨふシヨしシヨきシヨ
 中シヨ一シヨにシヨよシヨめシヨをシヨ入シヨちシヨとシヨ造シヨふシヨしシヨきシヨ
 のシヨよシヨきシヨとシヨあシヨらシヨとシヨ一シヨ桐キ袋セのシヨ大タイ切セツのシヨのシヨふシヨまシヨ
 るシヨ形カタきシヨやシヨるシヨ筒ツツのシヨ編ヒ緬ミンとシヨ向キョウいシヨくシヨもシヨ細ホソくシヨ
 煙ケン草ソウ入シヨちシヨとシヨ造シヨふシヨしシヨきシヨ

一シヨ指サシ白シロいシヨのシヨ赤セキ糸イトをシヨみシヨぐシヨきシヨとシヨ物モノをシヨよシヨめシヨどシヨ
 小コ刀カたシヨしシヨまシヨじシヨ一シヨ中ナカ妙ミョウ地チ産サンのシヨ糸イトをシヨよシヨめシヨどシヨ
 扇ア子キ銀ギン糸イト割ワ割ワ一シヨ表シヨ墨スミ絵エのシヨ糸イトをシヨよシヨめシヨどシヨ
 白シロ糸イト一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ
 腰ウシ紐ノビとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ
 四シ編ヒのシヨ糸イトをシヨよシヨめシヨどシヨ著シヨ身ミ夏ナツのシヨ姿サシもシヨ危シヨしシヨりシヨ
 子シヨ扇センとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ
 差サシのシヨ紐ノビとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ一シヨ指サシ骨ホネ利リ休キウ扇センとシヨ

まづ衣敷たご入紙入トウさる等々の

ものおひひりあふお人シテも送ワケりまゝの身

ハ持モタざるうささり

依ハ老若ともに酒サケを禁イフシり多キク原シ始ハる

かよフく不キ転テシまハるハ一ニ行ハるハ和ハまハて

ムクククの骨ホネ折ヒこハるハ人タもハ一ニと

婦メの尻シラ尾カシをシてハもハ足アシをシてハもハ

もハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

よハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

よハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

あハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

明ト友ト同トひトあハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

とハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

とハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

とハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

とハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

とハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ一ニとハるハ

存

一之移

書

記

釋

古

次

之者

如

風

塵

埃

隨

掃

文

章

の

性

を

ま

は

ん

記

一

多

し

入

詞

を

ま

亦

多

う

ん

は

巻

を

淺

解

一

が

死

る

後

編

を

是

ま

ぐ

う

大

意

一

初

二

編

一

ス

マ

カ

ル

の

大

通

朝

夕

の

多

家

の

障

を

換

掛

戸

窓

を

あ

記

を

三

編

一

ア

ソ

の

部

未

法

章

江

の

意

を

如

長

き

と

緩

き

と

古

實

四

編

一

モ

ノ

部

衣

類

の

如

く

調

を

ホ

一

ス

マ

カ

ル

の

部

一

衣

類

の

如

く

調

を

ホ

に記す

五編 大通用文章

大通一切の文章 女師への
五編 採らるる部 中記す

六編 女通の部

貞女のオキ女の釋とふと
た者としてふ 小袖 櫛
お好さるる料理 献立の趣

七編 徳實の部

夜鬱のるり の中に
あふるるもあふるし

於合後編六編全記す

大通七部

と一十部とあふる 義理と著
提人同居の弄り

花月坊



43

45452

39
M
K

